

この度は、ケンコー「M マウントアダプター」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本製品は、ライカ M マウント交換レンズを各社ミラーレスカメラに取り付けるためのアダプターです。(※本文中は、マウントアダプターと表記します)

ご使用にあたってはこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いいただけますようお願いいたします。

※ご使用前には必ず「安全上のご注意」をお読みください。

株式会社 ケンコー・トキナー

〒161-8570 東京都新宿区西落合3-9-19
東京営業所 TEL 03-5982-1060

▲ 注意

この指示に従わないで誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性があります。また、物的損害が発生する可能性があります。

本説明書では、次のような絵表示を使用しています。

△は、注意が必要な内容があることを示しています。
図の中に描かれているのは注意の内容です。
(左図は発火注意)

○は、禁止を示しています。
図の中に描かれているのは禁止の内容です。
(左図は分解禁止)

●は、指示を示しています。
図の中に描かれているのは指示の内容です。
(左図は注意する旨の指示)

■ 安全上のご注意

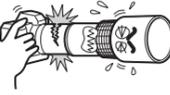
安全のため、ご使用前には必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みになり、それぞれの注意事項をお守りください。

▲ 注意

❗ カメラに装着する時は、カメラに正しくセットし、きちんとロックされたことを確認してください。正しく装着されていない場合、はずれて落下しケガをしたりするおそれがあります。



❗ カメラに装着したレンズとマウントアダプターに無理な過重をかけないでください。レンズ、マウントアダプターおよびカメラ側のマウント部分が損傷するおそれがあります。大型のレンズはマウント部分に負荷がかかりやすいので、操作時や移動時には必ずレンズを持つようにしてください。



❗ 長期間使用しないときや、結婚式や海外旅行など大切な写真を撮る時には、必ず事前にチェックしたり試し撮りをしたりして、失敗を防ぐようにしてください。



❗ マウントアダプターを改造、変造しないでください。レンズやカメラの故障の原因になります。改造、変造したマウントアダプターはサービスセンターでの修理が受けられない場合があります。また、ゴミや泥、砂、ホコリ、水、有害ガス、塩分などがレンズの中に入ると、故障の原因になりますからご注意ください。

※ シンナーやベンジンなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。



❗ このマウントアダプターは防水機構になっておりません。水没させないようにご注意ください。水没品は、ほとんど修理不能になりますので、取り扱いに十分ご注意ください。マウントアダプターに水滴や泥、砂などが付いている時は水滴をぬぐい、砂などをブローアなどできれいに落としてから静かにカメラからはずしてください。とくに海辺などで使用した後は、塩分が残らないように十分拭いてください。水滴などがついたまま放置しますと、毛细管現象により水がレンズ内部に浸み込んでいき故障の原因になりますのでご注意ください。



❗ ● 損傷が著しく製品の性能復元ができかねる場合、修理不能となることがありますのでご了承ください。

❗ ● お取り扱い上の不注意(使用説明書以外の誤操作、落下、衝撃、水かかり、砂・泥の付着など)、お手入れの不備(カビ発生など)により発生した故障は修理不能になる場合があります。

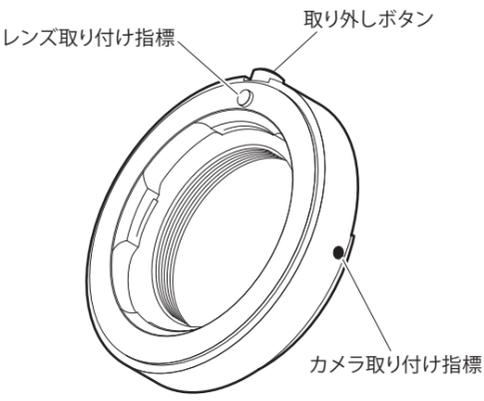
⚠ ● 本製品の故障に起因する付随的障害(撮影に要した諸費用および撮影により得られる利益の損失など)については、補償いたしかねます。

❗ ● 本製品は写真撮影のための製品であり、それ以外の使用目的で使用された時の故障および付随的障害については、ご容赦ください。

付属品



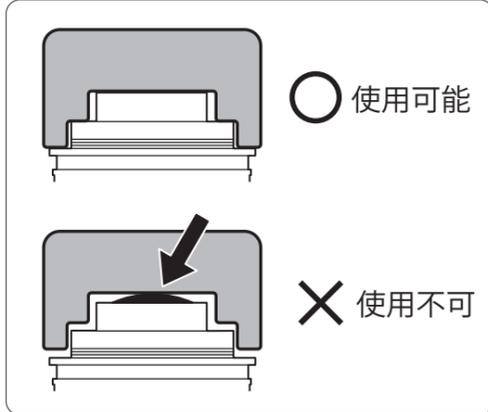
各部の名称



1 装着可能なレンズかどうかを確認する

付属のチェックゲージを使用して、お手持ちのライカ M マウントレンズが装着可能か確認します。

● レンズのピントリングを無限遠(∞)にセットし、図のように付属のチェックゲージをセットして、レンズ後玉の飛び出し量を確認してください。レンズ最後端がチェックゲージに接触する場合は、お使いになれません。無理に装着すると、レンズにキズがついたり、カメラ内部にキズがついたり、最悪の場合、破損する恐れがありますので、絶対にお止めください。



※ チェックゲージを使用する際、ガラス面に強く押し当てたり、無理に押し込んでレンズを傷つけたりしないように、ご注意ください。
※ チェックゲージは、あくまでも目安です。

取り付け準備

■ デジタルカメラの電源をOFFにしてください。
■ 取り付けの際は、ゆっくりと回し回してください。

2 レンズにマウントアダプターを取り付ける

※ レンズとマウントアダプターの着脱は、必ず両手で行ってください。

チェックゲージで装着可能なことを確認できたら、マウントアダプターのレンズ取り付け指標とレンズのレンズ取り付け指標を合わせて、レンズを矢印方向に「カチッ」と音がするまで回す。



3 カメラに取り付ける

マウントアダプターのカメラ取り付け指標を、デジタルカメラのレンズ取り付けマークに合わせて、矢印の方向に「カチッ」と音がするまで回す。



4 カメラボディの設定

デジタルカメラの設定を行います。カメラの電源をONにしてください。その他製品の詳しい操作方法は、お使いのデジタルカメラ付属取扱説明書、ハンドブックをご覧ください。

ご注意：カメラの設定が出荷時初期設定の状態での設定方法をご説明しますので、お客様がお持ちのカメラ設定状態によっては、違う場合がございます。

● キヤノン EOS M

- 液晶画面左上の「撮影モード」をタッチします。
- 撮影モード [AV または M] を選択します。
- 本体「MENU」ボタンを押します。
- 電子ダイヤルで一番右側の「★」マークに合わせ「SET」を押します。
- [レンズなしリリース] を選択し、「SET」を押します。
- 「C.FnIV：操作・その他の項目 レンズなしリリース」[1：する] を選択し、「SET」を押します。
- レンズの絞りリングで絞りを設定します。
([M モード] を設定している場合は、シャッタースピードも設定してください)
 - 測光は絞り込み測光 (絞り込んだ状態での測光) になります。
 - デジタルカメラには設定された絞り値は表示されません。
 - 画像データにレンズ焦点距離、絞り値は記録されません。
 - デジタルカメラ側で、絞り値の設定はできません。
- レンズのフォーカスリングでピントを合わせて撮影します。
 - ピント合わせ時、液晶画面右下の拡大を選択すると、ピント合わせやすくなります。

※ 使用するレンズの焦点距離は、およそ 1.6 倍換算になります。
⇒ (50mm レンズを使用した場合、80mm レンズ相当になります)

● ニコン Nikon1

- カメラ背面モードダイヤルを [静止画 (緑のカメラマーク)] に合わせます。
- 本体「MENU」ボタンを押します。
- ロータリーマルチセクターの下を押して「撮影メニュー」を選び、右を押します。
- 「露出モード」に合わせて、右を押し、[M マニュアル] を選び OK を押します。
- レンズの絞りリングで絞りを設定します。シャッタースピードも設定してください。
 - 正確な測光ができませんので、撮影結果を見て、お客様で調整してください。
 - デジタルカメラには設定された絞り値は表示されません。
 - 画像データにレンズ焦点距離、絞り値は記録されません。
 - デジタルカメラ側で、絞り値の設定はできません。
- レンズのフォーカスリングでピントを合わせて撮影します。
 - マウントアダプター使用時は、カメラ仕様上、MF 拡大表示をご利用になれません。
 - オートフォーカスは動きません。

※ 使用するレンズの焦点距離は、およそ 2.7 倍換算になります。
⇒ (50mm レンズを使用した場合、135mm レンズ相当になります)

● ソニー E マウント

- 撮影モード [A または M] を選びます。
- カメラ背面にある「MENU」ボタンを押します。
- コントロールホイールで「セットアップ」に合わせて中央のボタンを押します。
- [レンズなし時のリリース] を [許可にする] にします。
- レンズの絞りリングで絞りを設定します。([M] の場合はシャッタースピードも設定してください)
 - 正確な測光ができませんので、撮影結果を見て、お客様で調整してください。
 - デジタルカメラには設定された絞り値は表示されません。
 - デジタルカメラ側で、絞り値の設定はできません。
- レンズのフォーカスリングでピントを合わせて撮影します。
 - ピント合わせ時、[MF アシスト] を選択すると、ピントが合わせやすくなります。
(設定方法は、お使いのデジタルカメラ付属取扱説明書をお読みください)
 - オートフォーカスは動きません。

※ 使用するレンズの焦点距離は、およそ 1.5 倍換算になります。
⇒ (50mm レンズを使用した場合、75mm レンズ相当になります)

● マイクロ・フォー・サース (Micro Four Thirds)

- カメラ背面にある「MENU/SET」ボタンを押します。
- 液晶画面に表示された「撮影モード」をタッチします。
- 撮影モード [Av または M] を選び、タッチします。
- カメラ背面にある「MENU/SET」ボタンを押します。

- 液晶画面に表示された「カスタム」をタッチします。
- [レンズなしリリース] を選び、「MENU/SET」ボタンを押します。
- [ON] を選び、「MENU/SET」ボタンを押します。
- レンズの絞りリングで絞りを設定します。([M] の場合はシャッタースピードも設定してください)
 - 測光は絞り込み測光 (絞り込んだ状態での測光) になります。
 - デジタルカメラには設定された絞り値は表示されません。
 - 画像データにレンズ焦点距離、絞り値は記録されません。
 - デジタルカメラ側で、絞り値の設定はできません。
- レンズのフォーカスリングでピントを合わせて撮影します。
 - ピント合わせ時、MF アシスト選択すると、ピントが合わせやすくなります。
(設定方法は、お使いのデジタルカメラ付属取扱説明書をお読みください)
 - オートフォーカスは動きません。

※ 使用するレンズの焦点距離は、およそ 2 倍換算になります。
⇒ (50mm レンズを使用した場合、100mm レンズ相当になります)

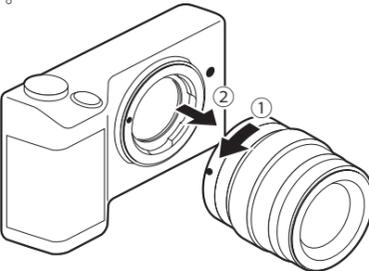
取り外し準備

■ デジタルカメラの電源をOFFにしてください。
■ 取り外しの際は、ゆっくりと回し回してください。

5 カメラから取り外す

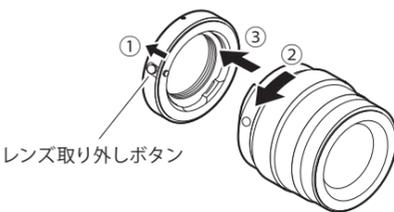
※ レンズとマウントアダプターの着脱は、必ず両手で行ってください。

デジタルカメラのレンズ取り外しボタンを押しながら、マウントアダプターを装着したレンズを矢印方向に止まるまで回して、外す。



6 マウントアダプターからレンズを外す

マウントアダプターの取り外しボタンを矢印方向に押しながら、レンズを矢印方向に止まるまで回して外します。



7 ご使用上のお願い

- ご使用前に、必ずチェックゲージを使用して装着可否を確認してください。
- お使いのレンズによっては、実際にピントが合う距離とレンズの距離表示がずれる場合があります。
- ライカ M マウント以外のレンズを無理に装着すると破損の恐れがあります。ご使用にならないでください。
- LM アダプターや他マウントアダプターとの連結で使用した場合、カメラ・レンズ・アダプター・アクセサリ等の破損、故障に対する保証はしていません。
- レンズの交換は、ごみやほこりの少ないところで行ってください。
- 砂やほこりの多い場所での使用は、故障の原因になりますので、避けてください。
- 落下、強い衝撃には、十分注意してください。
- お手入れは、乾いた清潔な布で軽くふいてください。
 - ベンジン、シンナー、アルコール、台所用洗剤等の溶剤使用は、お止めください。
 - 汚れがひどい場合は、水にひたした布をよく絞ってから、汚れをふき取り、そのあと乾いた布でふいてください。
- お使いのデジタルカメラ付属取扱説明書を必ずお読みください。